

令和2年度

北海道教育大学

附属函館幼稚園だより

NO. 14【号】

令和3年3月6日(土)



## 第50回 卒園の24名の皆さん！ご卒園おめでとうございます

副園長 藤谷 毅

日一日と春めいてきているかと思えばいきなりの雪。なかなか天候が安定しない今日この頃です。また、今年度は新型コロナウイルス感染症に振り回されることの多い状況に対しての本園の対応についてご理解やご協力、そして多くのご支援を賜りましたこと深く感謝申し上げます。思わぬ困難な日常の中ですが、ゆき組の子どもたちの進学への期待と夢にあふれた顔に、確かな成長と、未来の課題解決に果敢に挑む挑戦者の姿を感じます。ご卒園おめでとうございます。

3年前に入園してきたみなさんは、なかなか保護者の方から離れられない子、そんな子の面倒を見る子、ずっと前から本園に通っていたのではないかとというくらい馴染んで走り回っている子、それをしゃがんで下から見上げている子……。恐るべし！このパワー！！それが最初の感想でした。

それが見る見る落ち着いていき、毎日一人二人ときちんと座っていられるようになっていきました。恐るべし！この成長！！

そして、一人二人三人……と電車作りに取り組み始め、最後には全員で塗装し自作電車に乗って園内を散策。恐るべし！この団結力！！



つき組(年中)から6名が加わり、更なるパワーアップ。今までとは違った人間関係。今までとは違った発想。今までとは違った行動力。その6名との融合で、恐るべし！この良い具合の化学反応！！

この化学反応により、自作電車もグレードアップ。稼働する窓や自分たちで考え作った取っ手、立体的な装飾。全員が試行し、錯誤し、刺激し合っただけの最終形態の一端の見る思いでした。

ゆき組(年長)になると、今度は最上級生としての自覚が生まれ、優しさをもった行動、プライドをもった行動が出来るようになってきています。恐るべし！この年長パワー！！

私たちは驚かされてばかりの、そして成長する姿を楽しさと期待をもった3年間でした。

卒園される皆さんはいつまでもいつまでも、この附属函館幼稚園の子ども達です。楽しいとき、嬉しいとき、悲しいとき、困ったとき、元気がほしいとき、いつでも幼稚園を尋ねてきて下さい。

結びになりますが、今年度は新型コロナウイルス感染症蔓延予防のため、保育参観日や園外保育といった行事を実施が出来なかつたり、運動会やちびっこまつり、お遊戯会など例年とは違った形での実施となつたりしました。これらにより保護者の皆様のご期待に十分に答えることができず申し訳ございませんでした。しかし、これまでのゆき組の保護者の皆様のご協力お力添えによって、子ども達を笑顔で送ることができました。本当にありがとうございました。そして、様々な面で大変お世話になりました。紙面を借りて御礼申し上げます。